

令和6年度 こども園における自己評価

へしきや・かなさこども園

A 十分達成している B ほぼ達成している C 一部検討が必要 D 改善が必要

(実施した保育教諭9名)

項目	内 容	A %	B %	C %	D %
理念・計画等について	① 園の理念や教育・保育目標を理解している	64	36	0	0
	② 地域の実態や保護者の意向等を確認しつつ教育・保育計画を作成している	64	27	9	0
	③ 毎月の指導計画は乳幼児の実態に即して作成している	82	9	9	0
	④ 評価・反省の結果を次の計画に反映させている	55	36	9	0
教育・保育について	① 子ども一人一人の理解を深め受容しようと努めている	91	9	0	0
	② 自然と関わる機会を作り興味を引き出し自然の素材を教育・保育に活かしている	9	73	18	0
	③ 身体を使った様々な遊びや表現遊びを工夫している	45	55	0	0
	④ 評価結果を基に教育・保育の改善に努めている	82	18	0	0
人権	① 子どもに人格を無視した言葉や態度がないように十分配慮している	91	9	0	0
行事について	① 行事のねらいを定め、ねらいが達成できるように実践している	64	36	0	0
	② 行事の実施について保護者の願いや意見を考慮するよう努めている	64	36	0	0

項目	内 容	A	B	C	D
行事について	③ 計画・実施・評価・改善（PDCA）の体制をとっている	55	45	0	0
	④ 行事の種類や実施回数は適切である	27	46	27	0
食育・健康・安全について	① 食育を通して子ども達が楽しく食べ食べる意欲が育つように工夫している	64	36	0	0
	② 食育アレルギーは個別に配慮して食事を提供している	82	18	0	0
	③ 子どもの健康状態を把握し体調の変化に速やかに気付けるよう配慮している	91	9	0	0
	④ 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施している	91	9	0	0
特別支援教育	① 特別支援教育担当者を決め、家庭・地域社会・関係機関との連携を図っている	64	18	18	0
	② 職員会議の中で配慮を要する子への対応などの共有、連絡事項の確認を行っている	91	9	0	0
組織運営	① 研修等に積極的に参加し個々の資質向上に努めている	82	18	0	0
	② 各係の担当、職務の役割分担を明確化し管理責任体制の整備を図り職員間で「報告・連絡・相談・確認」の連絡、連携ができる	27	46	18	9
	③ 協力体制の重要性を認識し上司や先輩の指示・指導・同僚助言に耳を傾け、素直に聞き入れ決定事項、規則、手続きなどを守ることができる	73	27	0	0

項目	内 容	A	B	C	D
運 営 組 織	④ 各種文書や個人情報（パソコン・USBを含む）を適切に管理し守秘義務を厳守、情報の取り扱いを周知徹底している	91	9	0	0
施 設 ・ 設 備	① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	91	9	0	0
	② 遊具・用具等を計画的に行っている	55	45	0	0
	③ 災害や不審者等に対応する周到な配慮を行っている	73	27	0	0
	④ 掲示板やICT（コドモン）等を適切かつ効果的に活用している	64	36	0	0
地 域 ・ 小 学 校 と の 連 携	① 他施設等の幼児や児童生徒と触れ合う中で幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助、支援を行っている	46	45	0	9
	② 地域の小学校との交流や連携を積極的に進めている	9	82	9	0
	③ 地域のイベントに積極的に参加し地域の文化や生活に触れている	73	27	0	0
	④ 子育て支援機関と情報共有しながら連携をとっている	46	36	18	0
子 育 て の 支 援	① 朝・夕の送迎時に子どもの様子を伝えあうよう努めている	91	9	0	0
	② 参観日や懇談会等を通して保護者と共通理解を得る	91	9	0	0

項目	内 容	A	B	C	D
子育ての支援	③ 園庭開放や子育て相談等、地域の親子が安心して遊べる場の提供を行っている	37	36	27	0
	④ 医療機関や包括支援センター等の専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供している	73	18	9	0
情報の発信	① 園だよりやクラスだより、ドキュメンテーション、ホームページ等で施設の情報を発信している	82	9	0	9
	② 行事や子育て支援等を地域の連絡会や児童施設、小学校に周知している	46	45	9	0
外部評価	① 第三者評価を導入し施設運営に反映している	82	18	0	0
	② 地域や保護者の意見を施設運営に反映している	80	10	10	0

意見・改善策

理念・計画等について

- 4月の園内研修で統括園長の講話を行い全職員で共通理解している。地域の実態や環境、子ども達の発達に合わせて年間計画を基に月案（2か月案）を作成している。月案を月1回作成から2か月案に改善したことで、子どもの姿を長期的に捉えながらより深く作成することができた。また、支援計画やその他の書類もゆとりをもって作成できた。
- キャリアアップ研修や保幼小連絡会などの情報交換で小学校での取り組み（鉛筆の持ち方、黙想等）を参考に日々の保育に取り入れている。
- フリー保育教諭としてそれぞれのクラスの計画に目を通すことでクラスの目標や実態の理解に努めた。
- 日々の保育を振り返り、改善していけるよう担任同士の話し合いができています。
- 報告・連絡・相談がうまくできない時は、原因や必要性について話し合い改善に努めた。

教育・保育について

- 子どもの姿や状況等に配慮して関わるように努めた。今後も子どもとのかかわり方や遊びの専門性を深めていきたい。
- 子ども達が興味・関心が持てるようにクワガタの幼虫や稲穂などの環境を整え、図鑑を使って幼虫の育て方やお米について調べながら観察を楽しむことができた。
- 子どもの姿をよく観察し、今、何に興味があるのるかを考えながら保育計画を立案、実施した。「遊び込む」という言葉から登園後の園庭遊びの充実に繋がり、どろんこ遊びの環境作りに取り組み実践できた。色水遊びやシャボン玉などの道具が少ないのでもう少し増やしたい。
- 地域のイベントに参加し5歳児の音体を披露した。子ども達も多くの観客の前で堂々と発表し達成感と自信につながった。
- 廃材を使った商品作りから、親子で楽しむ「お店屋さんごっこ」を計画し保育参観で実施した。日々の遊びから保育参観へと繋ぎ子ども達も喜んでいた。
- 一人一人の個性を大切にしながら行動や言動等を担任同士で共有することを大切にした。
- 自然体験については地域探検や史跡見学等の改善が必要である。

人権について

- 子ども達一人一人に合った言葉かけを心がけている。
- 不適切な保育やアンガーマネジメントについて動画視聴や振り返りチェックシートの実施等、園内研修で学ぶ機会を設けている。
- 子どもの人格を無視した言葉や態度がないよう、自身の保育を振り返り、個々の子どもに寄り添った保育を意識している。
- 子どもの名前はさん付けで呼んでいる。

行事について

- 行事は職員同士の連携を大切に、一人一人の子ども達の発達に合わせた内容を考慮し計画、実践している。
- 地域行事では多くの観客に音体を披露した。日々、継続してきた音体を仲間と一緒に発表することで子ども達の達成感や自信につながった。
- 行事の回数や在り方について見直しや改善が必要と感じる。

食育・健康・安全について

- アレルギー児は他児と食器やテーブルを分ける等配慮し、配膳時は調理員と除去食の確認を行い配膳前には異物混入がないか確認を行っている。
- クッキングや栽培活動、給食会議を通しみんなで楽しく食事ができるような計画を立案、実践することで子ども達の食事の摂取量が増えている。
- 散歩をしながら子ども達と一緒に避難経路を確認している。避難訓練（集会）等での周知も必要と感じる。
- 登園時は検温、触診、視診、保護者へ体調面の確認を行っている。
- 職員は熱中症や感染症等の園内研修や救命救急講習等に参加している。
- 避難訓練では毎月職員の消火訓練を実施している。
- ヒヤリハットや怪我の集計、分析を行い、職員間での共有や対策案について話し合った。

特別支援教育

- 子どもの育ちを考慮しながら保護者や関係機関と連携し支援計画を作成している。
- 特別支援教育コーディネーターの研修を受講している。巡回相談や児童デイ等、関係機関とのモニタリングに参加し連携を図っている。
- 支援児の園での様子などを職員間で共有を行い、家庭との連絡等は丁寧に保護者に伝えるよう努めた。
- 巡回相談のアドバイスや対応方法を全職員で共有し保育に活かしている。
- 日々の保育の振り返りで遊びや声かけ等について話し合い保育につなげることができた。
- クールダウンのお部屋や活動等、環境構成について学びたい。

組織運営

- 個人情報や各種文書等、守秘義務を順守している。
- 毎朝の朝礼で報告・連絡・相談・確認の連携をしている。週休の時はLINEを活用して連携を図っている。
- 行事やイベント等で忘れ物が多かった。職員で話し合い、チェックシートを作成、活用し責任をもって確認できるよう改善を行った。
- 報告・連絡・相談に課題があったので今後気を付けていく。

- 月1回の園内研修や県内外の研修に参加することで園全体の個々の資質向上に努めることができた。係や職務の役割分担に職員同士で協力し連携を図ることができたので今後も継続していく。
- クラスや個人に応じた研修に参加できている。気になることは常に相談している。
- 研修に積極的に参加し、保育の専門性を高められるよう努力したい。

施設・設備

- 施設内外の安全点検を定期的に行っている。危険個所は用務員へ連絡を行い修繕している。
- ブランコの下にソフトグランドマットを敷き、転落防止に努めた。
- うるま警察署に指導を仰ぎながら不審者対応研修等、対応方法を学んでいる。
- コードモンで日々の活動内容を写真やコメントで配信を行い保護者にも喜ばれている。
- 色水やシャボン玉遊びに必要な道具を増やしていく。

地域・小学校との連携

- 保幼小連絡会やきむたかこどもセンター運営委員会、行政主催の研修に参加し情報共有を行っている。
- 近隣の幼稚園やこども園の公開保育に参加し、保育の質の向上や相互理解を深めることができた。
- 小学校運動場、体育館の利用、5歳児のプール体験。当園職員の読み聞かせボランティア等に参加している。
- 地域のイベントではもずくまつり、十五夜祝い、うるま市福祉まつり、うるま市認定こども園まつりに参加し音体を披露した。
- 小学校施設等の利用は充実していたが、児童と園児の交流が少なかったので次年度の計画に取り入れたい。
- 小学校の図書館利用体験では図書館の雰囲気味わったり、静かに絵本を読んだり興味・関心を持つことができた。
- 今年度は他施設の同年齢の子ども達と関わる機会が少なかったので次年度は交流計画を立案したい。
- 小学校の施設利用と小学生との交流、特に5歳児は積極的に増やしても良い。
- 地域行事である平敷屋ハーリー大会に参加し、職員のチームワークを深めることができた。今後も積極的な地域行事への参加に努めたい。

子育ての支援

- 日々の子ども達の成長を保護者に伝え共に喜び合うことで信頼関係の構築に努めた。また、家庭での困り感を傾聴し、連携機関と相談することで集団での配慮や家庭での様子等の情報共有することができた。
- 登降園の際は子どもの様子について保護者との会話を大切にしている。保護者とコミュニケーションを取り、話しやすい関係性を築けるよう心がけている。
- 子育て支援事業について園庭開放等、ホームページで行事予定カレンダーを掲載したり、近くのコンビニにポスターを掲示するが利用者が少なかった。新たな周知方法を考えたい。
- 園ホームページに掲載している子育て支援事業計画表をコドモンで配信することで保護者から地域の親子へ子育て相談や園庭開放の情報が伝わるのではないかと思う。今後はコドモンでも配信を行う。

～

情報の発信

- 子ども達の姿や育ちを写真（ドキュメンテーション）を通して伝え、保護者から「毎日、活動の様子が確認できるので安心」との声があった。
- 運動会や発表会の日程を小学校に周知しており平敷屋小学校校長が来賓で参加している。
- 地域の連絡会に参加し情報共有を図っている。
- 就学先の各小学校の連絡会に参加し、申し送りを行っている。

外部評価

- 沖縄県福祉サービス第三者評価 2回受審（令和2年度/令和4年度）
- 保護者アンケートや外部評価（施設関係者評価）の結果をホームページで公表。全職員で共有し改善に努めた。

・自己評価の成果と今後の取り組み

- 指導計画においては保育士の負担軽減策と子どもの発達に合わせた指導計画作成の観点から、これまでの月案から 2 か月案へ見直しを図った。
- 小学校や地域の連絡協議会、他園の公開保育等に参加し情報交換や職員同士のディスカッション、交流活動等の連携に努めた。
- 地域行事ではムーチーづくりや平敷屋区ハーリー大会出場、音体発表等、地域の方々とコミュニケーションをとる機会となり、絆や交流を深めることができた。
- 県内外の研修や法定研修等、積極的な参加により職員一人一人の保育の質の向上に努めた。
- 虐待防止対応やアンガーマネジメントスキルについて学び、不適切保育にならないよう振り返りに努めている。
- 保育ドキュメンテーションで写真やコメントを配信することにより、子どもの成長過程の把握や保護者への発信等、連携を深めることができた。
- 行事の数や内容について見直しや改善に努めたい。
- 園児と小学生の交流計画が希薄であった。次年度の課題である。
- 行事で使用する道具の確認や職員間の報告・相談・連絡の向上に努める。